令和7年度 ウチノ海環境調査 (9月5日調査) 徳島県水産研究課 細胞/mL 採水層 水温 透明度 採水 塩分 シャットネラ シャットネラ シャットネラ シャットネラ カレニア コクロディニウム St. 時刻 (°C) (m) (m) アンティーカ マリーナ 区分不能 オバーターミキモトイ フルベセンス 息田島 0-5 8 0.06 北泊 31.79 10:17 28.31 5.5 撫佐 28.32 32.09 32.19 28.02 10 大毛島 28.11 32.26 B-1 0-5 2 0.01 27.97 31.43 10:13 5.5 堂浦 28.01 31.43 27.99 31.77 B-1 27.86 31.85 0-58 28.26 31.87 33 10:23 6.7 28.28 31.96 12 3 32.17 28.14 10 27.92 32.28 備考 27.98 32.24 B-1 0-5 19 ・有害種のシャットネラオバータが前回調査時 31.90 6.8 10:30 28.33 より増加しました。本種は、高密度化すると魚類 31.93 28.33 を斃死させる恐れがあります。今後の動向にご 27.73 32.06 注意ください。 10 27.32 32.21 最大細胞密度 52cells/mL(St.50-5m) 32.21 B-1 27.32 0-5 1 52 0.02 10:36 ol 28.25 31.80 6.1 ・有害種のシャットネラ属(アンティーカ、マリー 28.26 31.82 3 0.23 36 0.07 ナ、区分不能)、コクロディニウム フルベセンス 31.91 0.07 0.15 0.05 31 28.28 0.08 が検出されましたが低密度でした。 10 27.88 32.28 17 0.02 B-1 27.94 32.28 ・珪藻はスケレトネマ属主体で前回調査時より 0-5 0.26 0.04 35 0.26 減少しました。 10:45 28.24 31.84 6.9 珪藻細胞密度:135cells/ml(St.5 0-5m) 28.24 31.87 28.34 32.08 10 27.91 32.27 27.97 32.28